勿来工業高等学校建築科ＯＢ会
事務局だより

発行所
いわき市植田町本町三丁目8-13
発行者
勿来工業高等学校
建築科ＯＢ会
会長　櫛田　常雄
ＴＥＬ　0246(63)7489
（事務局）

第四回総会

第四回総会終了

平成八年七月十三日（土）午後四時より、ウエディングプラザ新龍においてＯＢ会第四回総会が開催されました。

初めに櫛田会長の挨拶があり、引き続き議事に入りました。

第一号議案として、平成七年度事業報告並びに同収支決算報告に関する件及び会計監査報告がありました。

第二号議案では、平成八年度事業計画（案）に関する件、第三号議案では、平成八年度収支予算（案）に関する件、があり、了承されました。

その他新入会員紹介がありました。

今回の総会には約七十名ほどの出席者しかありませんでした。次回総会からは、会員の皆さんの多数の参加、ご協力をお願いいたします。

ＯＢ会二年を経て

ＯＢ会会長　櫛田　常雄

紅葉鮮やかな季節となりました。会員の皆様にはお変りなくおすごしのことと思います。

日頃は勿来工業建築科ＯＢ会に対し御指導と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去る七月十三日開催いたしました、ＯＢ会第四回定期総会も多くの会員の出席を得て開催することができました。特に今回は多数の女性会員に出席をいただき、懇親会を盛大におおいに盛り上げていただきありがとうございました。

「次回は一人でも多くの男女会員の出席をお待ちしております」

さて、早いもので勿来工業建築科ＯＢ会も発足三年を経過いたしました。この間会員の皆様の御協力により、ＯＢ会として一定の目標は達成できたものと考えておりますが、会員の皆様の御意見をお寄せいただければ幸いであります。

また、ＯＢ会の事業につきましては、定期総会、会報の発行、在校生の育成事業としての設計競技を実施しておりますが、今後もこの三つの事業を主に行ってまいりたいと考えております。

ＯＢ会の事業については、役員の方々の奉仕により実施しておりますので、仕事への影響や負担にならないよう考慮し、事業の拡大よりも内容の充実に努めております。

事業の課題としては支部の結成であり、今日まで結成に向けて努力してまいりましたが、支部の結成については各地区の集結が必要ですので各地区の皆様の御協力をお願いいたします。

今後もＯＢ会の発展のため、役員一同頑張って参りますので会員の皆様のより一層の御協力をお願い致します。

建築科近況

建築科３年担任　寺島　弘

景気が若干上向きになったとはいえ、建築界を取り巻く情勢は、依然厳しい状況が続いているように感じます。そんな中でも卒業生の皆様におかれましては、厳しさに負けずご活躍のことと思います。

また、ＯＢ会におきましても、結束を密にし益々発展していること、在校生を預かる身として心強いかぎりです。いつも陰ながら支えていただき、ありがとうございます。

私も本校に赴任し十一年目に入りましたが、卒業生が現場で働いている姿を見ると、成長した姿がとても眩しく、「彼らがいわきの建築界の基礎を支え、これから担っていくんだな。」と思うととても頼もしく感じています。

（現在本校の実習棟が新築中のため、現場でＯＢ達が働いている姿を毎日見ることができます。その反面、来年度からＯＢの方々が学んだ現在の実習棟が壊されると思うと、一抹の淋しさを感じてますが……）

今年は、前科長の矢吹二良先生が郡山北工に転勤され、平尾洋一科長のもと、池上邦彦（一年生担任・昨年度会津工業より赴任）、長谷沼徹（今年度会津工業より赴任）、田村幸雄、富岡秀忠、寺島の六名のスタッフで取り組んでいます。在校生は一年生四十名（女子十二）、二年生四十名（女子七）、三年生三十五名（女子十一）です。

今年度の進路状況は、卒業予定者三十五名で就職希望者二十一名～建設業関係十八名（県内十四県外四）・他三名、進学希望者十四名～大学三名（建築二他一）・専門学校十一名（建築八他三）です。就職者のおもな職種は現場監督をはじめ大工（ＯＢの方のところへ弟子入りする者）、宮大工（法隆寺の棟梁西岡常一の弟子、小川三夫さんの鵤工舎へ入舎する者）など様々です。まだ若干未定の者もいますが、先輩方のお力添えにより何とか目処がたってきました。ただ女子については男子にもまして厳しい状況です。今後は女子の就職者についてのご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

最後に、これからも勿来工業建築科をよろしくお願いするとともに、ＯＢ会の益々の発展と会員皆様のご活躍をお祈りいたします。

社会人

鈴木　健之

私が社会人になってから、もう七カ月めに入ろうとしています。最近では、やっと社会人としての自分がわかってきたという感じで、高校を卒業したばかりのころは、まったくそういう気持ちがなく不安ばかりでした。

私が高校時代に想像していた設計事務所というものは、「暗い」や「きつい」など建設現場の「３Ｋ」のようなイメージが強かったのですが実際に入社してみるといままでのそういうイメージとは、まったく違っていて、明るく仕事をする環境もいいということにおどろきました。会社の先輩達をみていると自信をもって設計してお客さんに喜んでもらい自分も喜び、とても満足感があると思います。私もそういう先輩たちに近づけるようがんばりたいと思います。

仕事について

胡口　司行

クレハ建設に入社して、七カ月が過ぎました。今日まで、たくさんの楽しい事もあり、泣きたい時も、数多くありました。入社前に、理想していた現場、実際に、今日まで体験してきた現場は、理想とは、まったく違いました。現場監督は、工事の最初から最後まで、一つの現場に着っきりなので、仮設、左官、鉄筋、型枠工事など、すべてを体験して、理解し、工事を進めて行かなくてはなりません。自分も、一つの現場を最後まで体験しましたが、工種の一つ一つを、その場で理解し、現場で実行させるのに、苦労しています。工事写真を撮ったり、墨出し、その他の雑用が今の仕事の内容です。自分が今日まで、現場の中で生活してみて、とても難しい仕事だと感じました。しかし、毎日違った動きをして、現場は進んで行くので、やりがいのある仕事だと思います。これからも、自分自身のため、毎日が勉強です。

参考になった記念講演会
―今野忠博氏を招く―

第四会定時総会終了後、弁護士の今野忠博氏を招き、「建築に関する民法」をテーマとした記念講演が行われました。

建築紛争の特殊性、民法の規定と請負契約の考え方、設計・施工・監理の一貫性とその問題点、紛争の予防と予防法学、等など、われわれ仕事において常に接している身近な問題を厳しくとらえ、また、ユーモアをまじえた話に会員の皆さんは真剣に聞き入っていました。

これからの仕事の中で生かせることが多く、大変参考になったのではないかと思います。

今野忠博さん、ありがとうございました。

懇親会について

第四会総会終了後、別室において懇親会が行われました。

櫛田会長の挨拶、中野敏光学校長の祝辞と続き、草野智東京支部長の乾杯により始まりました。各回生ごとにテーブルにまとまっていましたが、時間がたつにつれ、いろいろなサークルにまとまり、学生時代の思い出やお互いの仕事の話しなどに熱が入っていたようです。なごやかな雰囲気の中おひらきとなりました。まだ燃焼しきれない人達は平の街に消えていきました。今回は参加者が少なく盛り上がりが今いちでしたので、次回は多数の同窓生が参加し楽しく語り合える事を期待します。

勿来工業産振棟改築工事

嵐　繁雄

母校、勿来工業高校待望の産振棟（実習棟）改築工事が平成八年六月に着工致しました。その産振棟の設計担当事務所（三社共同）として、ＯＢである私がチーフとなり昨年七月から基本設計を開始し、今年三月実施設計が完成しました。

規模は、ＲＣ造四階建、建築面積四二八九㎡延床面積一、五三六㎡で工事完成は平成九年十二月予定となっています。産振棟は、既存の機械科実習棟を解体した跡地に建設する計画であり、完成後は残りの実習棟全てを解体し、サブグランドになる予定となっています。

外観は、既存校舎との調和を計りシンプルなデザインとなるように配慮し、意匠のポイントとして、四隅にカーテンウォールの階段室を設け、外部から生徒の動きが見える活動的な雰囲気を演出し、一方内部からも外が見え、採光と換気が得られる、明るい施設となるよう計画した建物となっています。

工事は、建築が渡辺・クレハ共同企業体、電気設備は常盤・クレハ共同企業体、機械設備は三共・丸良共同企業体の施工で、工事監理は福島県いわき建設事務所建築課となっています。工事担当者も、渡辺組の小谷津君（六回卒）をはじめ、多くのＯＢが携わって工事が進められています。

母校の建設工事に、設計担当者として参加できた事は大変光栄であり、関係者各位に感謝すると共に、建物が無事完成する事を祈りながら報告致します。